

益田市歴史文化基本構想（案）に対するパブリックコメント結果について

【「第5章関連文化財群の設定と内容」に関する意見】

	ご意見	市の考え方
1	97 頁の「益田市の海洋領主的性格とそれを支えた人々」の中で、中須東原遺跡と併せて中須西原遺跡についても紹介すべきではないでしょうか。東原遺跡に劣らず重要な遺跡でした。同遺跡は土地区画整理事業で破壊されましたが、同じように道路建設で破壊された沖手遺跡は 96 頁で取り上げられています。なぜ、中須西原遺跡についての記述はないのでしょうか。	発掘調査が実施された中須西原遺跡は、一部の発掘調査にとどまる中須東原遺跡を理解するうえで参考ともなる遺跡です。 ご指摘を踏まえ、加筆修正します。

【構想決定後の取り組みに関する意見】

	ご意見	市の考え方
2	益田市は、市民が思っているより数多くの貴重な文化財や遺跡、優れた古文書等が残っている。ボランティアガイドとして益田市内を案内していると、隣の山口や広島県、また他府県の方からも「益田はこんなに良い所、歴史があるのに、なぜもっとアピールしないのか」といった意見をよく聞く。また、この地域以外からの講演者や学者の方も口をそろえる。 まず、市民が益田のことをよく知らない。益田市の歴史を教育される機会がなかった、少なかったことで、子どもたちに伝承されていない。今の子供たちの方が郷土愛育成のための勉強をしていることで、親より知っている場合もある。もう少し、市民全体が観光誘致について考える機会を設けたい。	引き続き調査研究を進めて地域の歴史文化の把握に努め、歴史文化の継承に向けた取り組みが一層促進されるよう、その価値や魅力について、情報発信・普及啓発に努めることとしています。
3	すべての分野において、丁寧、親切、細やかに網羅されていると感じました。 中世の益田・益田氏と並行しながら、西部地域についての調査研究も一層前進すると、また新たな展開が期待できるのではと思います。 「幕府領・津和野藩領・浜田藩領の境界の地」で美濃地区の“一里塚”や二条の藩境石”が掲載されており、欠落しがちな境界にも、視点が当たっているのを感じました。	

4	<p>素晴らしい、詳しい計画書だが、専門的知識が少ない市民にとって、もっとわかりやすい概要版を作成して、計画のイメージがつかれ、理解の促進を図れるようにしてほしい。</p> <p>このことは、寄付など必要な場合、多くの賛同を得るためにも必要なことと思う。</p>	<p>構想決定後には、学校の教材としての利用も想定した概要版を作成する計画です。</p>
5	<p>広域の大きな計画なので、順位づけを行って、確実に進めてほしい。</p>	<p>各種補助金や交付金に関する情報収集をし、可能な財源の確保に努めるとともに、計画的・段階的に着実に実施していくこととしています。</p>
6	<p>今後の推進については、(絵に描いた餅にならないように)優先順位と年次計画策定を早い段階で確定し、(歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業補助金を活用するなどして)計画どおり進むよう財源の確保をお願いします。</p>	

【その他】

	ご意見	市の考え方
7	<p>新聞記事(12月15日付け山陰中央新報)によると「山本浩章市長は“日本遺産の申請にも活かしたい”とした」とありますが、構想を基にどのようなストーリーに仕立てるのですか。</p> <p>12本ものストーリー(関連文化財群)が作られています、その中から1本だけ取り上げるのか、数本を組み立てるのか、あるいは12本全部をまとめるのですか。</p>	<p>歴史文化基本構想では、これまで行ってきた文化財総合的把握調査で確認された文化遺産を基に、益田市の歴史文化を特徴付けるストーリーとして12の関連文化財群を設定しました。日本遺産の要件である「当該地域の際立った歴史的特徴・特色を示すものであるとともに、我が国の魅力を十分に伝える」ストーリーとなるよう、文化庁など関係機関の指導を得ながら、12の関連文化財群を基に、その組み立てに取り組んでいるところです。</p>